**化学コミュニケーション賞・審査員特別賞**

**暦年データ**

2011年度

化学コミュニケーション賞（個人）

『ウェブ・書籍などを通じた化学コミュニケーション活動』

佐藤健太郎（東京大学大学院理学系研究科化学専攻）

化学コミュニケーション賞（団体）

『20年に及ぶ「少年少女化学教室」の実践』

株式会社クラレ

審査員特別賞

『化学の普及と大学授業とを両立させる出前化学実験』

戸谷義明（愛知教育大学理科教育講座化学分野）

審査員特別賞

『分子模型教材による化学コミュニケーションの推進』

藤井豊・淺原雅浩・田中幸枝（福井大学　医学部/教育地域科学部/医学部）

2012年度

化学コミュニケーション賞（個人）

『放射化学を通じた化学生涯教育の実践』

井上浩義（慶應義塾大学 医学部 化学教室）

化学コミュニケーション賞（個人）

『新聞連載とサイエンスショーを通じての化学コミュニケーションの実践』

栗岡誠司（神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科）

化学コミュニケーション賞（団体）

『化学情報伝達・啓発のためのウェブシステムの構築』

化学ポータルサイト Chem-Station

審査員特別賞（団体）

『教員のチームワークを活かした化学情報の発信』

学校法人重里学園 日本分析化学専門学校

審査員特別賞（個人）

『紙芝居と実験ショーの開発・公演活動　―子供への化学コミュニケーション―』

吉祥瑞枝，守恭助，山内閑子（サイエンススタジオ・マリー）

2013年度

化学コミュニケーション賞（個人）

『化学サイト「生活環境化学の部屋」と科学イベントの運営』

本間　善夫（新潟県立大学国際地域学部 准教授）

化学コミュニケーション賞（団体）

『身近な日用品を通しての「化学」教育支援活動』

ライオン株式会社　研究開発本部　企画管理部

化学コミュニケーション賞（個人）

『子どもから大人まで化学を楽しむ仕組み作り』

栗山　恭直（山形大学理学部物質生命化学科　教授）

審査員特別賞（個人）

『子どもから大人まで化学を楽しむ仕組み作り」

長尾　明美（サレジオ工業高等専門学校　一般教育科　専任講師）

2014年度

化学コミュニケーション賞（団体）

『伝統工芸を介した化学技術の魅力発信』

「伝統の継承と化学のおもしろさ」開発チーム

化学コミュニケーション賞（個人）

『宝石を用いた魅力ある化学実験教材の開発および実践』

　河合孝恵（富山高等専門学校・物質化学工学科）

化学コミュニケーション賞（個人）

『幼児向け化学実験教材の開発と展開』

宮本一弘（開成中学校・高等学校）

審査員特別賞（個人）

『出前実験による長年の化学コミュニケーション活動への貢献

　　菅原　晃（鶴岡工業高等専門学校　名誉教授）